



# サステナビリティの実現に向けて

令和元年度省エネルギーセミナー

2019/11/26(火)

# 会社概要

# 会社概要

社名 株式会社ブリヂストン

本社所在地 東京都中央区京橋3丁目1番1号

設立年月日 1931年（昭和6年）3月1日

創業者 石橋 正二郎（いしばし しょうじろう）

代表執行役 CEO 兼 取締役会長 津谷 正明（つや まさあき）  
取締役 代表執行役 COO 兼 社長 江藤 彰洋（えとう あきひろ）  
代表執行役 副会長 石橋 秀一（いしばし しゅういち）



CEO 津谷



COO 江藤



副会長 石橋

## 業績データ

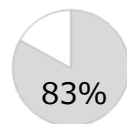
	創業時（1931年）	現在（2018年12月期）
資本金	100万円	連結売上高 3兆 6,501億円 連結純利益 2,916億円 資本金 1,263億円 連結従業員数 143,509人
従業員数	144人	単体売上高 8,894億円 単体純利益 1,760億円 単体従業員数 14,075人



（株）ブリヂストン本社（東京）

# 事業紹介

## タイヤ事業

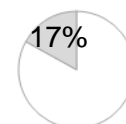


連結事業別売上高\* 構成比

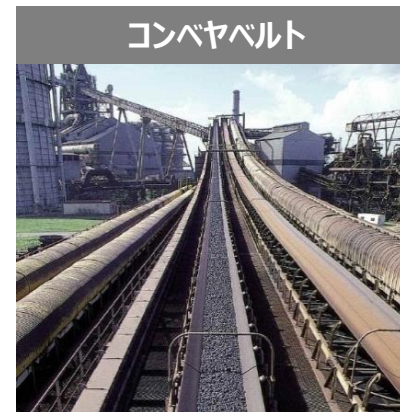
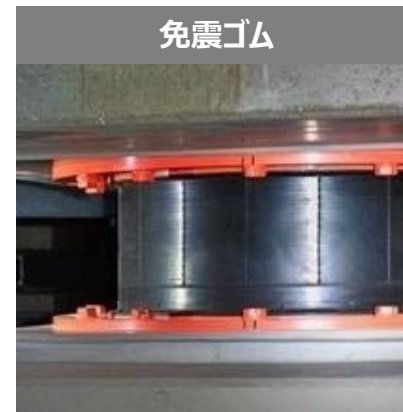


その他タイヤ（産業車両用、農業機械用、二輪自動車用他）、リトレッド材料・関連技術

## 多角化事業



連結事業別売上高\* 構成比



その他（ウレタンや樹脂製品、屋根材、高圧ホース、自動車用シートパッド）

\*事業別売上高は外部顧客に対する売上高

# ソリューションプロバイダーへ

ソリューション  
事業



## 運送ソリューション



新品 + リトレッド + サービス + IT

## パンク対応ソリューション

DRIVEGUARD  
RFT

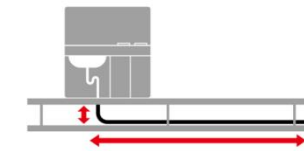


ランフラットテクノロジー

## NVHソリューション



## 建築ソリューション



サイホン効果で無勾配排水  
床下高さが小、配管距離が長くできる

## 鉱山ソリューション / 産業・建機ソリューション



タイヤ + コンベヤベルト + ホース + サービス + IT

## 農機ソリューション



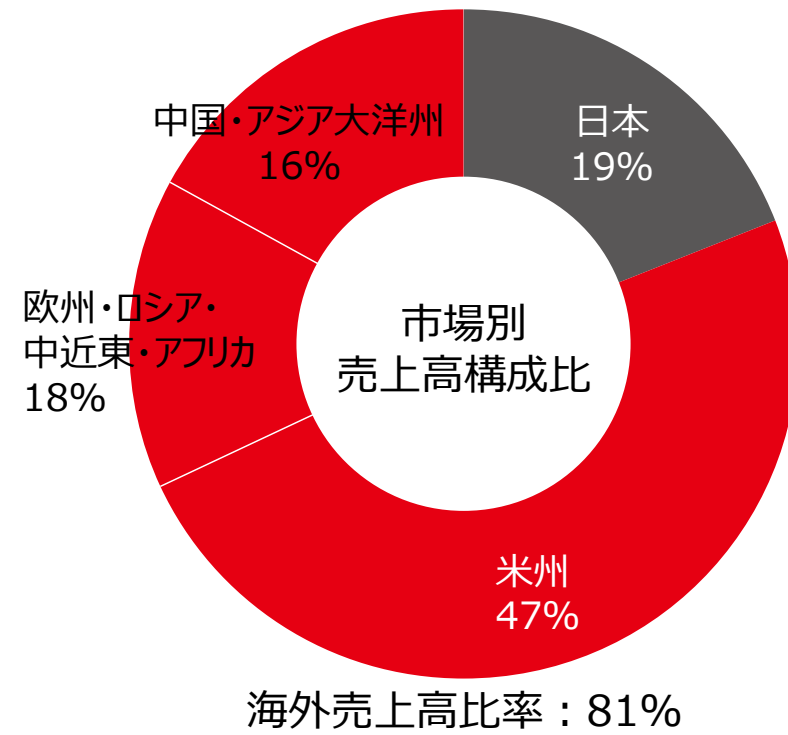
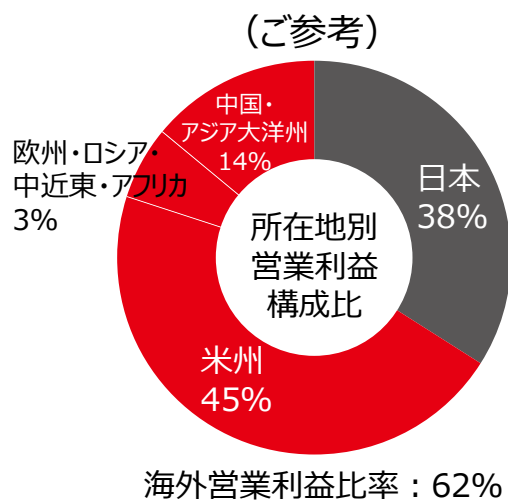
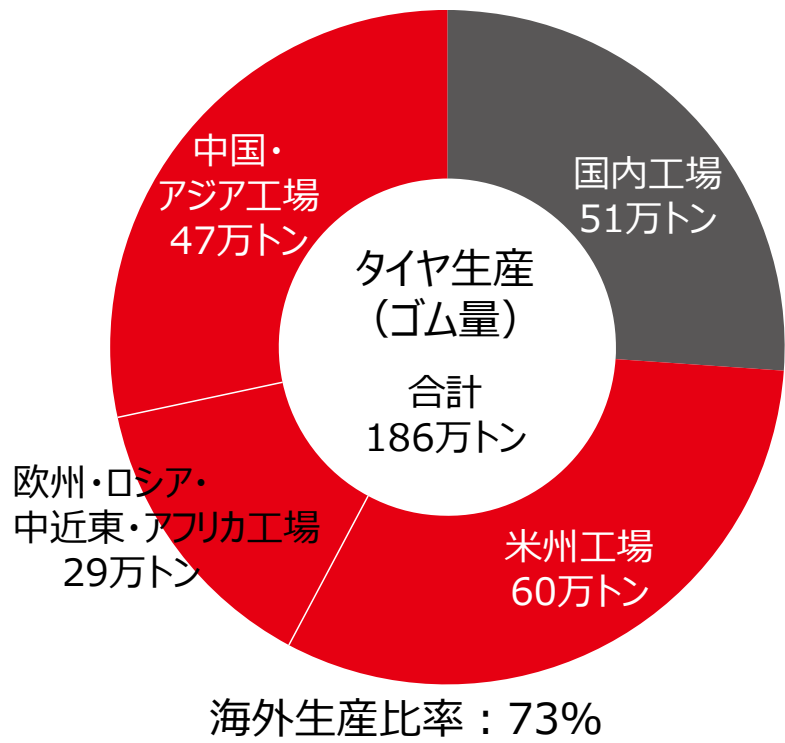
タイヤ + ゴムクローラ + サービス

## 航空機タイヤソリューション



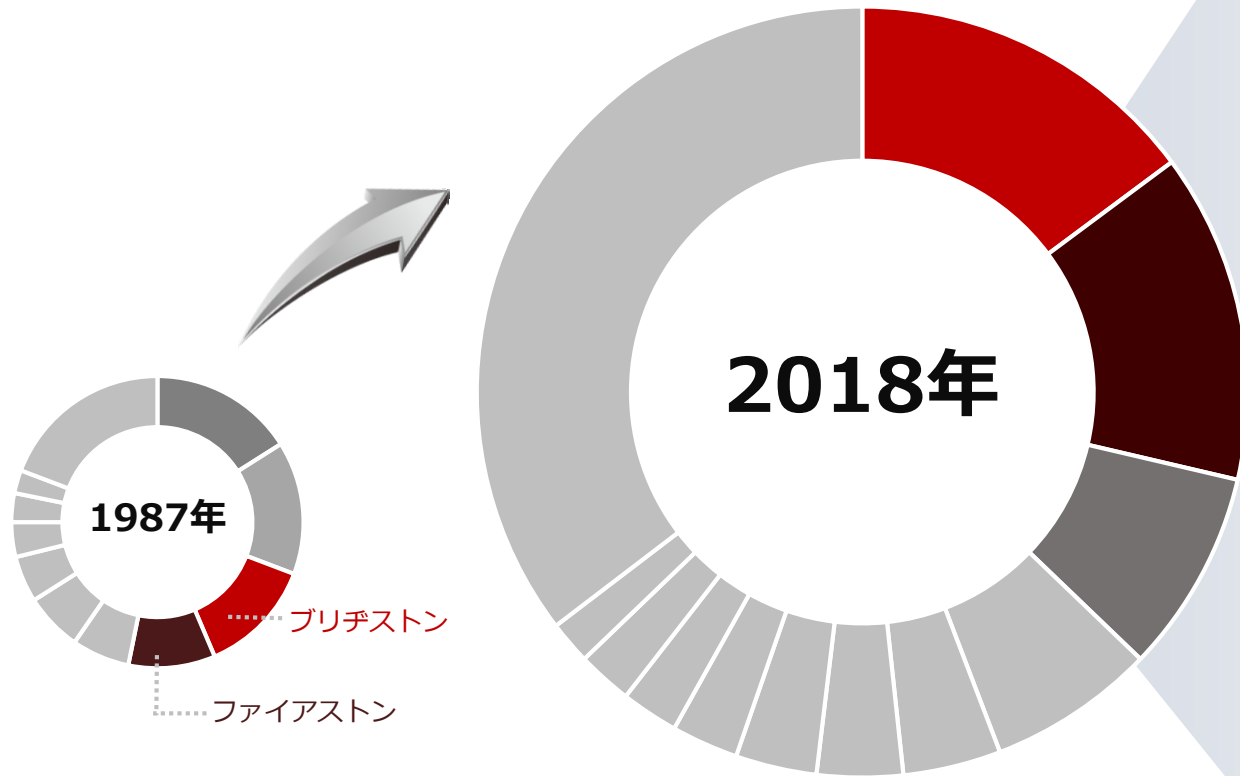
タイヤ + リトレッド + サービス

# グローバルでの地域別構成比





# 世界のタイヤ市場シェア（売上高ベース）



ブリヂストン	14.8%
ミシュラン	13.8%
グッドイヤー	8.5%
コンチネンタル	7.0%
住友ゴム	4.1%
ピレリ	3.6%
ハンコック	3.4%
横浜ゴム	2.8%
中策ゴム	2.4%
正新	2.3%
トーヨータイヤ	1.8%
その他	35.3%

資料出典：タイヤビジネス誌 - Global Tire Company Rankings  
 ※円グラフの面積は、各企業のタイヤ売上高合計に比例しています。  
 1987年：40,250百万米ドル 2018年：168,625百万米ドル

# SDGs・社会課題解決に向けた取り組み



# 企業理念 ～「使命」に込められた意味



## 最高の品質

商品、サービス、技術にとどまらず、あらゆる企業活動において、お客様にとっていちばんよいものは何かを追求し、提供します

## 社会に貢献

企業の利益のためだけでなく、広く社会の発展に寄与し、世界中の人々の安全と、快適な生活を支えます

この使命を果たすことにより、世界中のすべての人に信頼され自らも誇りを持てる企業を目指します

## Our Way to Serve



# 持続可能な開発目標 (SDGs) との関わり

Our Way to Serveの領域

関連するSDGs

169のターゲットに関連する活動事例

## モビリティ

多様な移動ニーズに応える  
モビリティの進化に貢献する  
安全・安心な移動を支える



- バス乗降時のバリアフリー化 (正着性向上) に貢献する **バリアレス縁石・タイヤの開発** (11.2)
- 輸送ビジネスを支える**デジタルソリューション** (9.1, 8.2)
- ランフラットテクノロジー採用タイヤ** (3.6) ・ 世界各地での **タイヤ安全活動と教育活動** (3.6)

## 一人ひとりの生活

安全・安心な暮らしを支える  
次世代の学びを支える  
地域の健やかな暮らしを支える



- 免震ゴム** (9.1, 11.5) ・ 災害現場で活躍するタフロボットの**人工筋肉の開発** (9.1, 11.5)
- 教育機会に恵まれない子どもたちへの**学校施設の提供** (4.6)
- 生産拠点における**職業訓練教育施設の運営** (8.6)
- 農村部の女性たちへの**健康診断活動** (3.8)

## 環境

自然と共生する  
資源を大切に使う  
CO<sub>2</sub>を減らす



- 生産拠点での**取水量削減** (6.4) ・ 生産工程での**揮発性有機化合物 (VOC) の削減** (12.4)
- ゴム農園周辺における**森林回復活動** (15.2)
- 使用済みのタイヤのトレッド (接地) 部分を取り除き、新たにトレッドゴムを加硫・圧着して再利用できるようにした**リトレッドタイヤ** (12.2)
- 天然ゴムの性能を上回る世界初のポリマーHigh Strength Rubber "SUSYM"** の開発 (12.2)
- 生産拠点における**廃棄物の埋立ゼロ** (12.5)
- バイオマスボイラーの導入** (7.2) ・ **タイヤの転がり抵抗の低減** (7.3) ・ 生産工程での**エネルギー消費削減** (7.3)

## 基盤領域

基盤領域を通じた責任ある  
事業活動



- 持続可能なサプライチェーン構築に向けた「**グローバルサステナブル調達ポリシー**」の策定 (12.2, 17.17)
- 基本的人権に関する諸原則を遵守し、取り組みをさらに推進する「**グローバル人権方針**」の策定 (5.5, 8.5, 8.7)
- コンプライアンス上の問題に対する考え方や行動の指針を明確化した「**行動規範**」の策定 (16.5)

# 経済的、安全でバリアフリーな公共交通システムへの貢献

11 住み続けられるまちづくりを



TARGET 11-2



## 11.2

2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障害者、および高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた **交通の安全性改善** により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、**持続可能な輸送システムへのアクセスを提供** する。

## バス乗降時のバリアフリー化に貢献するタイヤと縁石の開発



### バス乗降口と停留所の間隙を最小化する正着性向上の研究開発\*

\* 公益社団法人日本交通計画協会、横浜国立大学との共同研究



### 次世代バリアレス縁石

適度に傾斜させた路肩スロープにより**スムーズで安定した正着性**を確保、縁石底ラウンド形状により**タイヤサイド部の摩耗を軽減**

<改良正着縁石・路肩形状>



### 新コンセプトタイヤ

タイヤが縁石との接触を繰り返して、タイヤサイド部が摩耗することの対策として、**サイドゴムのみを張り替える技術**を考案



# ランフラットタイヤの開発・普及

3 すべての人に  
健康と福祉を



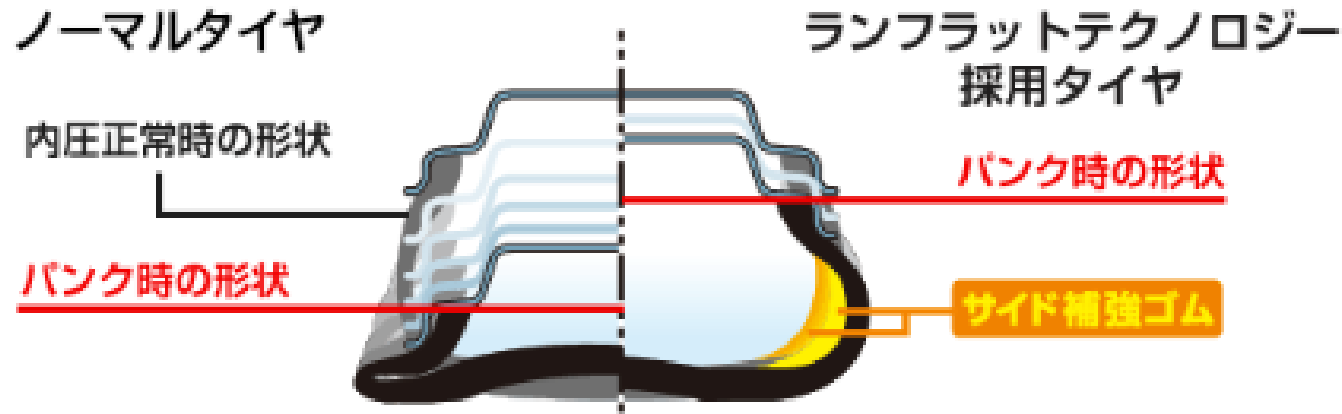
TARGET 3-6



3.6 2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。

## RFT（ランフラットテクノロジー）採用タイヤの普及

パンクしてタイヤの空気圧がゼロになっても速度80km/hで80kmの距離を走行  
パンク自体による事故や路上でのタイヤ交換による事故を防ぐことが可能  
新車装着用タイヤに加えて、交換用タイヤでも普及を促進



(空気圧が失われてもサイド補強ゴムにより、荷重を支える構造)

**DRIVEGUARD**





# 次世代自動車(電気自動車、燃料電池車等)に適応した技術・商品開発

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



7.2

2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。

## 次世代の低燃費タイヤ技術「ologic®」

狭幅化+大径・高内圧化で優れた低燃費性能を実現

電気自動車やソーラーカーレースに採用



# 環境中長期目標～環境の取り組み



# ブリヂストングループの環境宣言



**環境宣言**

未来のすべての子どもたちが「安心」して暮らしていくために…

ブリヂストンは、お客様やビジネスパートナー、そして社会とひとつになって、「持続可能な」社会の実現を目指し、誠実に取り組みます。

そのために、次の3つの活動を行っていきます。

- 自然と共生する**  
生態系の保全や再生、自然活動を促して、生物多様性の保全に貢献します。
- 資源を大切に使う**  
製品やモノづくりの全体を通して、資源を効率的に用い、廃棄物の削減や再資源の活用を継続していきます。
- CO<sub>2</sub>を減らす**  
製品のライフサイクルを駆動し、低炭素社会の実現に貢献していきます。

ブリヂストンは事業活動の全ての領域で環境活動に取り組んでいます。

モノづくり | 環境コミュニケーション | 商品・サービス | 社会貢献

TEAMS

One Team, One Planet.  
地球のために、ひとつになる。

BRIDGESTONE

## 持続可能な社会の構築に向けて、 2011年5月 環境宣言をリファイン

環境活動の方向性を明確化  
(3つの社会の実現)

- ・自然と共生する (自然共生社会)
- ・資源を大切に使う (循環型社会)
- ・CO<sub>2</sub>を減らす (低炭素社会)

「持続可能な」社会の実現に向けた取り組みを推進

# ブリヂストングループの環境長期目標



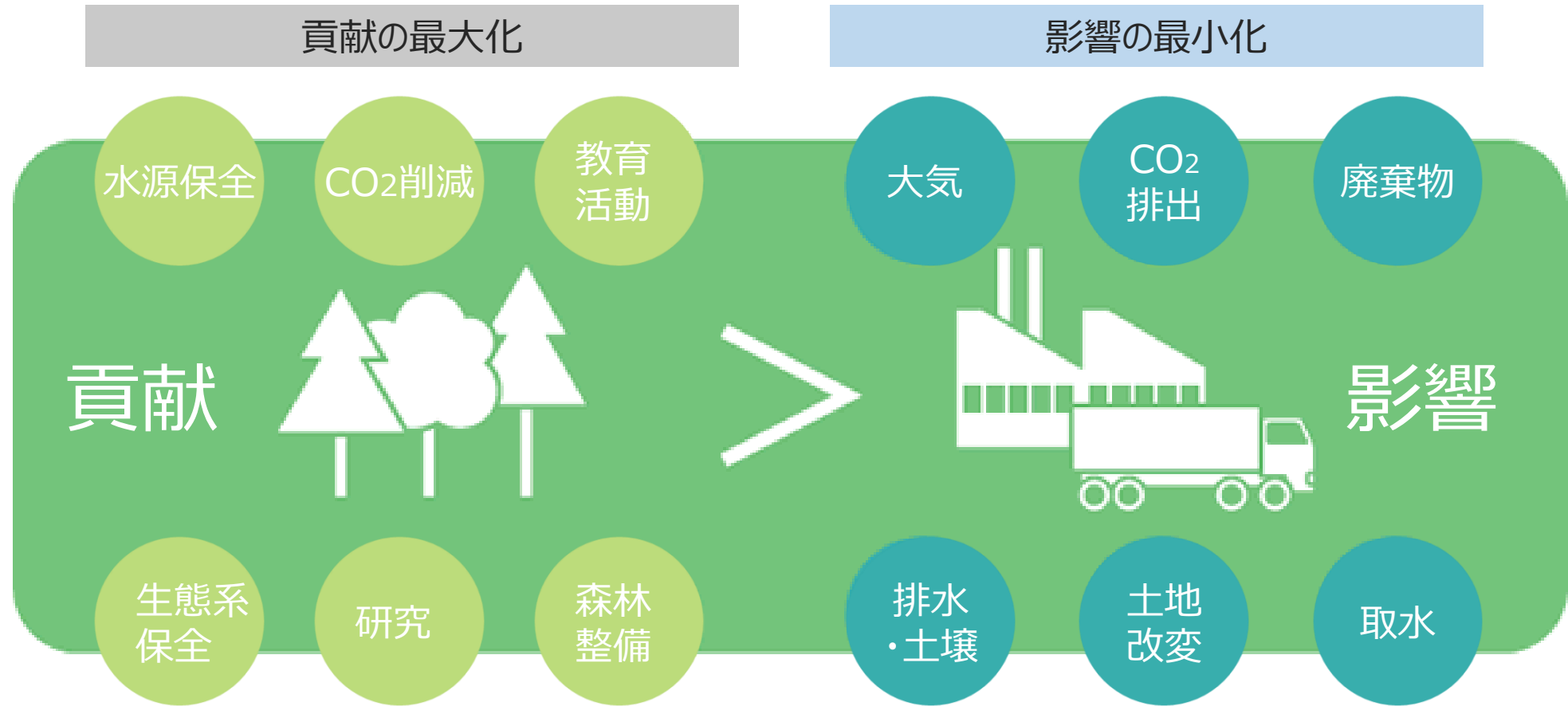
持続可能な社会の実現に向けて、環境長期目標、中期目標を策定



自然と共生する

環境長期目標（2050年以降）  
生物多様性ノーネットロス

# 生物多様性ノーネットロス の考え方



事業が生物多様性に与える 影響を最小化、残ったマイナスの影響を生物多様性への  
貢献活動によって補いトータルでゼロ以上 にする考え方

# 影響の最小化に向けた取り組み (生産活動：取水)

## 当社グループ全体の生産拠点における取水量削減目標 2020年までに 2005年比 35%削減 (原単位)

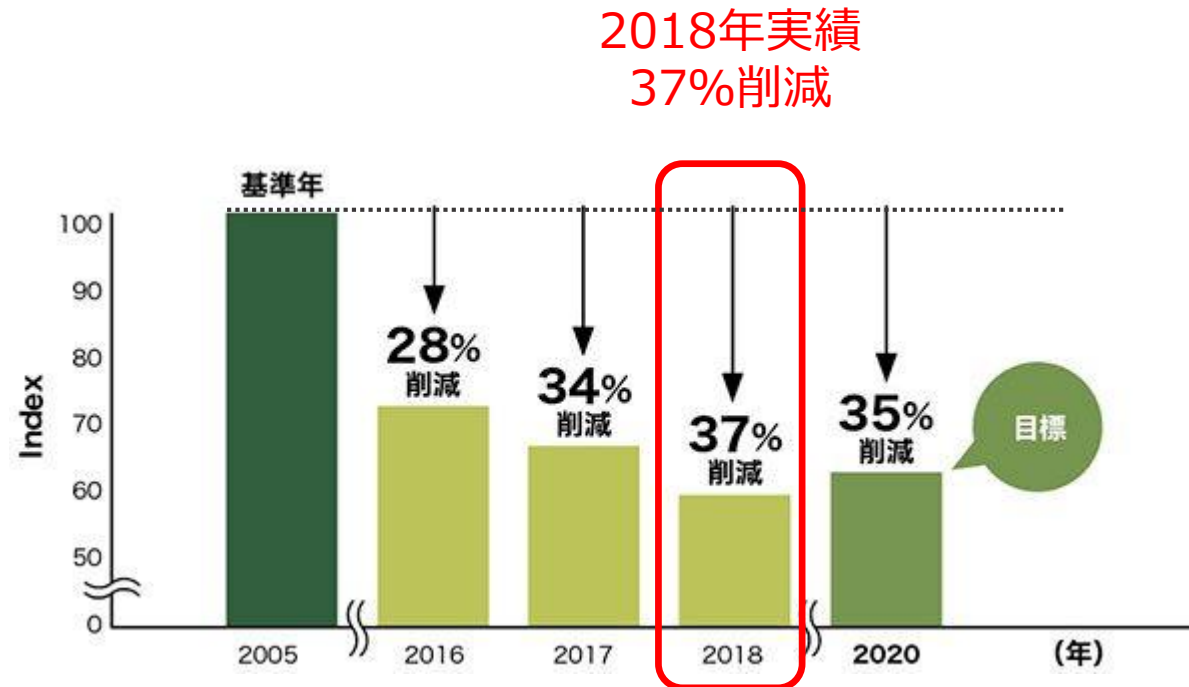
<活動事例>



水の循環利用システム (日本)



雨水貯留池 (カーボン工場, タイ)



製造プロセスの改善による効率的な水資源利用や  
雨水の利用などを推進、水リスクの評価を行い拠点ごとに対応策を推進

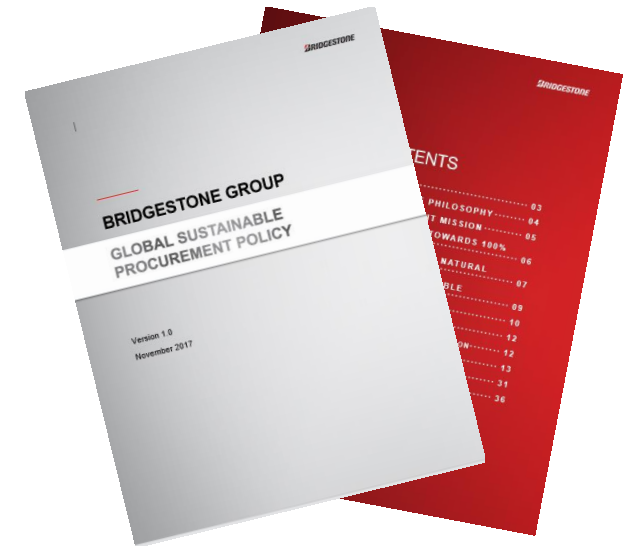
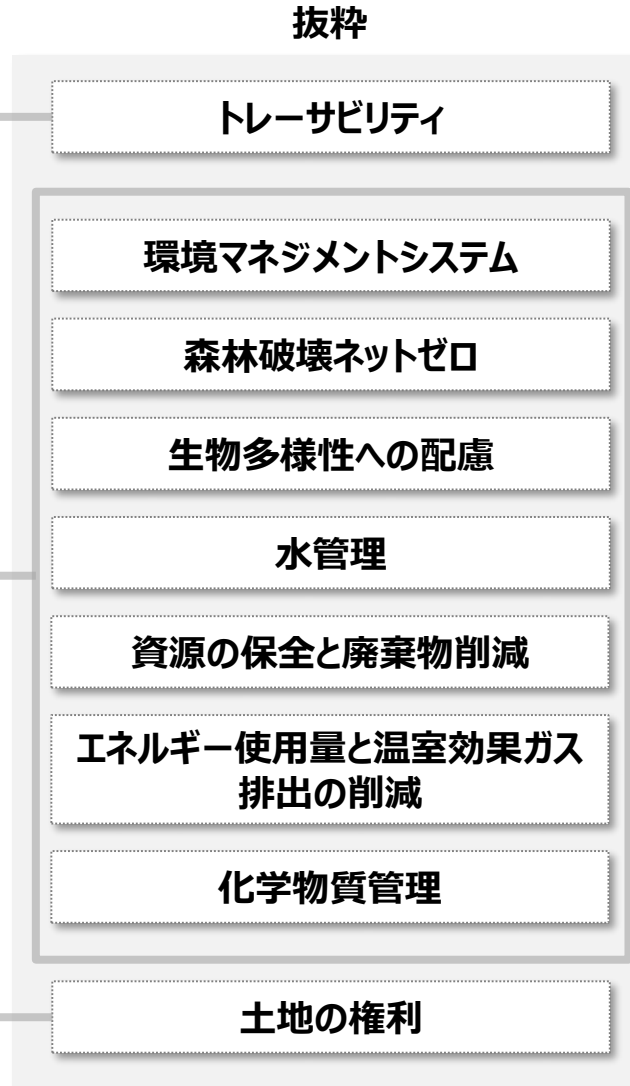


# 影響の最小化に向けた取り組み（調達段階）

## グローバルサステナブル調達ポリシーの発行

2018年2月6日発行

目次
はじめに
ブリヂストンの企業理念
ブリヂストンの調達ミッション
100%サステナブルマテリアル化に向けて
Global Sustainable Procurement Policy (グローバルサステナブル調達ポリシー)
1. 透明性 (トレーサビリティ, ガバナンス)
2. コンプライアンス
3. QCD (品質、コスト、供給) & イノベーション
4. 持続可能な調達活動
(1) 環境配慮型調達
(2) 人権の尊重
(3) 労働安全・衛生、および防災
(4) レジリエンス
付属書 1 : 用語とその定義
付属書 2 : 参照用



12か国語でステークホルダーに展開

英語、簡体字中国語、繁体字中国語、  
ヒンディー語、スペイン語、フランス語、  
インドネシア語、ブラジルポルトガル語、  
日本語、韓国語、ベトナム語、タイ語

現在、お取引先様やビジネス  
パートナーの方々をご理解いただ  
けたかどうかを確認し、お取引先  
様にセルフアセスメントしていただく  
**自己評価アンケートを実施中**



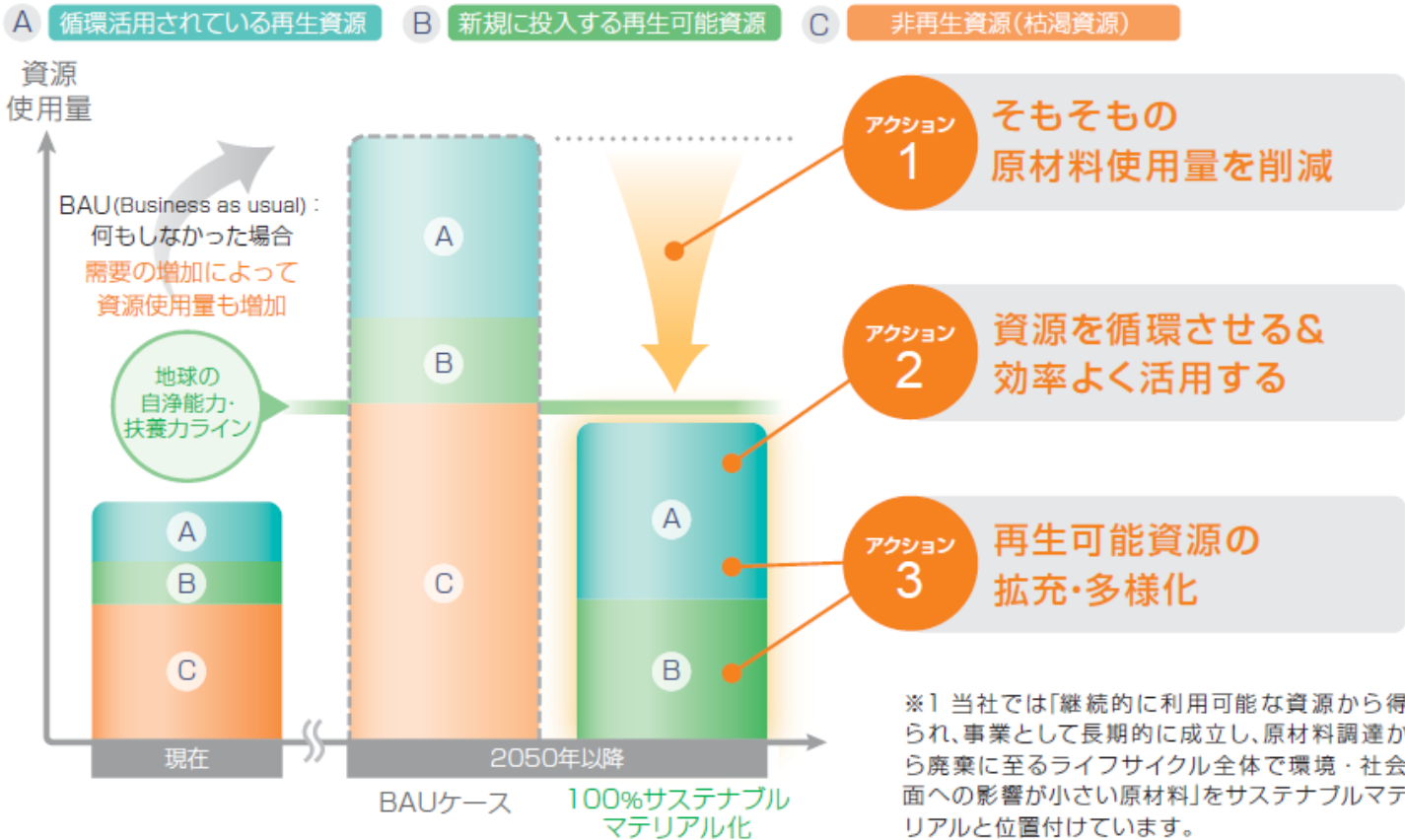
資源を大切に使う

環境長期目標（2050年以降）  
100%サステナブルマテリアル化



# 「サステナブルマテリアル化」に向けたアクション

## デカップリングの実現に向けて 企業価値向上と資源消費・環境負荷増大を切り離していく



### アクション① ともとの原材料使用量を削減

最新技術 → 将来技術  
「ハーフウェイトタイヤ」

樹脂/ゴムハイブリッド材料(HSR)

### アクション② 資源を循環させる&効率よく活用する

リトレッドタイヤ

AirFreeConcept

環境・安全・快適性のすべてを高次元で達成するタイヤ  
※リサイクル可能な資源を使用

### アクション③ 再生可能資源の多様化・拡充

グアール

農園BD・エリート品種

再生可能資源を効率よく作る

# 「CO<sub>2</sub>を減らす」取り組みの考え方



CO<sub>2</sub>を減らす

環境長期目標（2050年以降）  
グローバル目標への貢献  
（CO<sub>2</sub>排出量50%以上削減）

# CO<sub>2</sub>排出量削減 目標と実績

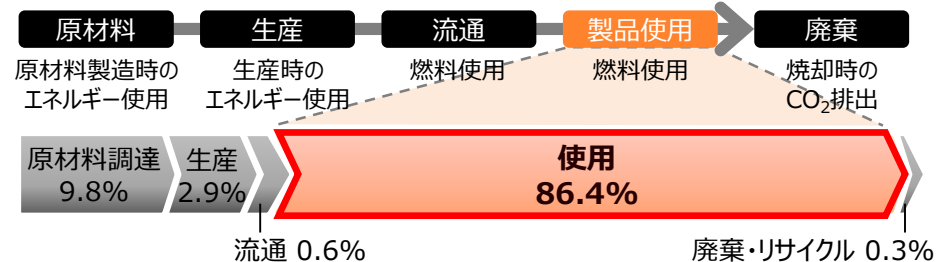
## 考え方



**長期目標** (2050年以降) : **グローバル目標への貢献**  
(CO<sub>2</sub>排出量50%以上削減)

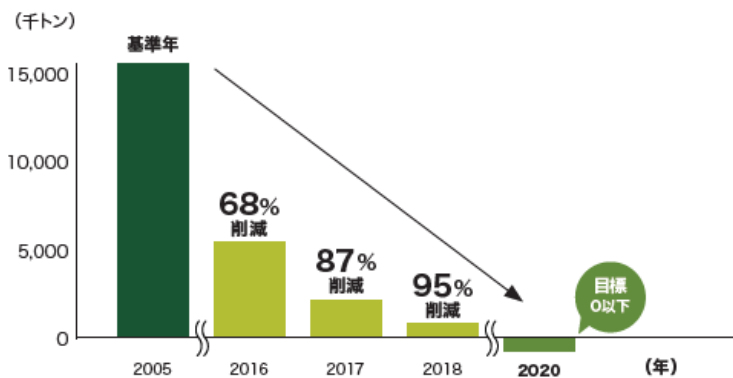
**中期目標** (2020年) : **モノづくりで排出される以上のCO<sub>2</sub>の削減に貢献**

〈タイヤのライフサイクルの各段階における温室効果ガス排出量〉



### 中期目標の考え方

$$[\text{モノづくりCO}_2\text{排出量}] - [\text{使用時の削減貢献量}] \leq 0$$

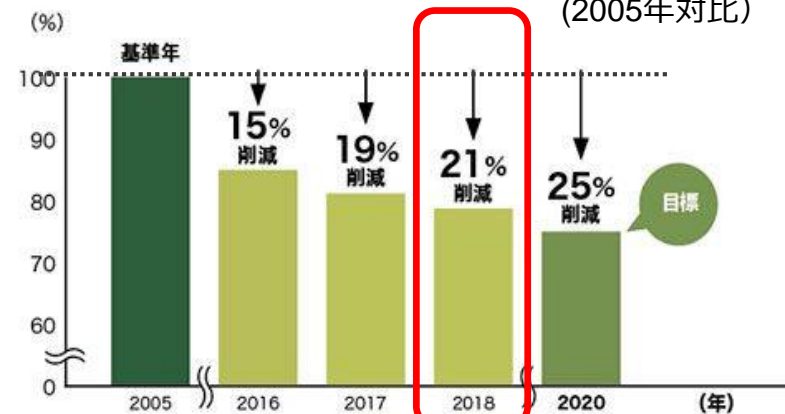


## 取り組み

① **モノづくりにおけるCO<sub>2</sub>排出量を35%削減**  
(2005年対比、売上高当たり)



② **タイヤの転がり抵抗 (RRC) を25%低減**  
(2005年対比)



# 「CO2を減らす」主な取り組み

## 製品使用時のCO2削減への貢献

低燃費タイヤ **ECOPIA** (エコピア)  
(乗用車用、トラック・バス用)



- ・低燃費 + 安全・ウエット性能
- ・高級品～汎用品まで拡充



次世代低燃費  
タイヤ技術 **ologiC** (オロジック)



狭幅 + 大型・高内圧化

転がり抵抗低減  
ウエット制動性能向上

(BMW i3に採用)

## 輸送におけるCO2削減



モーダルシフト (輸送方法の見直し)、  
運送ルートの見直し

## モノづくりにおけるCO2削減



エネルギー・サーベイ



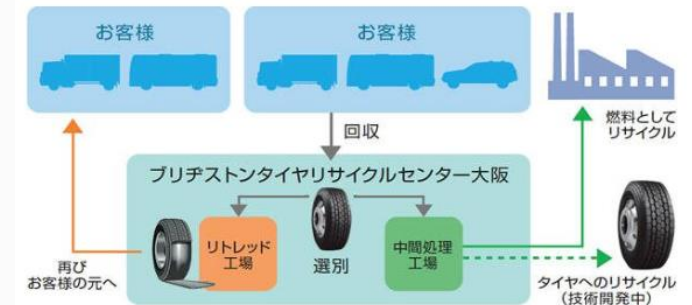
再生可能エネルギーの導入

## 原材料調達におけるCO2削減



グアユール、ロシアタンポポの研究活動

## 製品廃棄におけるCO2削減



3R (リデュース、リユース、リサイクル) の促進

ライフサイクルの各段階でCO2排出削減につながる取り組みを推進

# SDGs協働のあり方～お取引先様・お客様と共に



# Our Way to Serve



モビリティ



一人ひとりの生活



環境

人々がより快適に移動し、生活し、働き、そして楽しむことに貢献



イノベーション



テクノロジー



**THE GLOBAL GOALS**  
For Sustainable Development

***BRIDGESTONE***

あなたと、つぎの景色へ